



東京美術倶楽部を会場に開催された「大刀剣市2012」。今年も好天に恵まれた



午前10時の開場を待ちかねるお客さま

第25回「大刀剣市」を顧みて

第二十五回大刀剣市は、十月二十六日から二十八日までの三日間、東京新橋の東京美術倶楽部で開催されました。

東日本大震災が発生し、全国民が大きな困難に向かう中で行

われた昨年の第二十四回に引き続き、本年度も震災復興、厳しい経済状況、円高、近隣諸国との摩擦、政治不信などの難題が山積する中で開催となりました。組合員総数百九十四名のうち七十三名が出店しました。日本国内はもとより海外からも多くのお客さまが見えられ、三日間の有料入場者は二千九百九十六人に上り、会場は連日お気に入りの逸品を探そうという皆さまで賑わいました。今日の厳しい時世下にあっても、会場を埋め尽くすほどのお客さまにご来場いただきましたこと

は、感謝に絶えません。全国刀剣商業協同組合の大刀剣市は、今や世界最大の刀剣・武具イベントとして、広く認知されております。近年では、世界各国の著名美術館においても刀剣・武具に関するショーが開催されるようになりました。これらは、刀剣・武具に秘める崇高な美の世界に寄せる関心度が以前にも増して高まっていることを示すものだと思います。私たちの組合は、世界に誇れる日本の刀剣文化を伝承し、広くその素晴らしさを知っていただきたいと願い、商業活動の枠を超え、重要事業と位置づけ大刀剣市を開催してきました。

今年の特別企画展では、NHK大河ドラマの「平清盛」にちなんで「清盛と頼朝の時代の刀展」と題し、今から九百年前、貴族政治が混迷を極めた平安末期、平清盛らと同時代を生きた名工の刀剣を中心に陳列しました。会場の三階重文室は終日満員御礼の大盛況でした。出品にご協力くださいました皆さまにはあらためて御礼申し上げます。

また、恒例となりました「現代刀匠による銘切りの実演」「我が家のお宝鑑定」も同時開催され、多くのお客さまで賑わいました。毎年三日間の刀剣市ではありますが、出店された皆さまは夏真っ盛りの時期より魅力ある商品の選定と店舗企画の工夫をされ、また図録製作担当のボランティア組合員は、撮影の進行から打ち合わせ、校正などを重ねています。さまざまにご協力いただいた皆さま、誠にありがとうございました。こうした活動を通して、組合員同士が相互を理解し信頼を深めていくことが、大刀剣市のスムーズな運営に、ひいては固く団結した組合をつくり出すことにつながっていると思います。初回より後援をいただいている産経新聞社、フジサンケイビジネスアイの両社、また協賛をいただいている全日本刀匠会などの関係各位には毎々格別のお引き立てを賜りまして、誠にありがとうございました。

ご来場の方や組合員各位からの産経新聞社「明美ちゃん基金」への協力、ありがとうございました。本年の大刀剣市は、十月二十五・二十六日の三日間、同じく東京美術倶楽部での開催を予定しています。第二十三回大刀剣市の折の「東日本大震災復興支援チャリティーオークション」

では、組合員から無償で寄せられた九十五品の品々すべてが落札され、それらの売上金三百三十六万八千円は全額、組合から被災地に寄付されました。今年大刀剣市では、同様のチャリティーオークション開催が計画されています。皆さま、お楽しみに。

また、大刀剣市の日程に合わせて公益財団法人日本美術刀剣保存協会の全国大会が京王プラザホテルで開催されることになっており、当組合は全面的に協力する予定です。なお、組合では、お客さまと円滑な商談ができるよう、本年の大刀剣市より商談スペースを設けることを検討しております。これに伴い、各テナントにブースの移動などをお願いすることが予想されます。ご協力を願います。

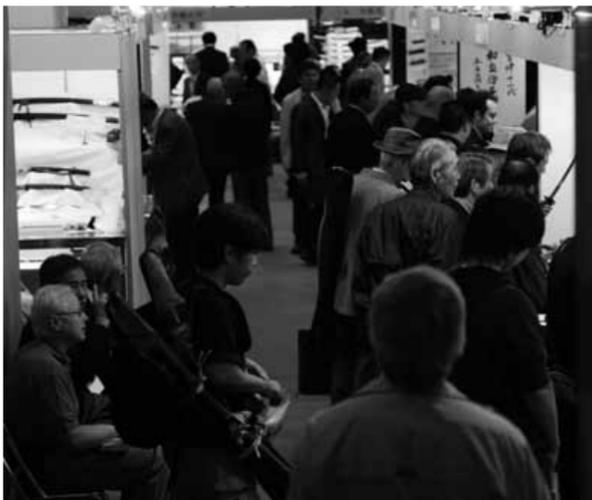
次回の大刀剣市にも多くの出店者が集い、たくさんのお客さまをお迎えできますように、相変わらぬ協力とご高配を賜りますようお願い申し上げます。(生野正)

NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL



2013.1.15 VOL.9
発行人 深海 信彦
発行所 全国刀剣商業協同組合
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10
新宿スカイプラザ1302
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089
http://www.zentosho.com

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 編集委員 | 赤荻 稔 | 朝倉 忠史 | 飯田 慶雄 |
| 飯田 慶久 | 伊波 賢一 | 大平 将広 | 川島 貴正 |
| 齋藤 恒将 | 嶋田 伸夫 | 清水 儀孝 | 生野 正一 |
| 新堀 賀将 | 高橋 正法 | 土子 民夫 | 網取 謙 |
| 服部 暁治 | 深海 信彦 | 藤 弘之 | 松本 義行 |
| 宮澤 琢 | 冥賀 吉也 | 藤持 具宏 | |



多くのお客さまで賑わう各店舗

美術刀剣・刀装小道具商

やしま
齋藤雅稔・隆久・隆洋

刀装小道具通信販売目録「やしま」
年間10回発行予定
購読料10回 2,000円 (郵便切手可)

〒202-0022 西東京市柳沢6-8-10
TEL 042-463-5310
FAX 042-463-7955

柳匠堂
柳村宗寿

岡山市北区平和町二一八
TEL 〇八六一二二三一一三二九
TEL 〇八六一二二三一一三二九
TEL 〇八六一二二三一一三二九
TEL 〇八六一二二三一一三二九
TEL 〇八六一二二三一一三二九

金工・刀身彫刻・修理・諸工作式

代表 網取譲一

福隆美術工芸

甲冑 刀剣 刀装具 古美術 一般

〒104-0061
東京都中央区銀座二一一一四
TEL 〇三三三五四一八二〇九
FAX 〇三三三五四一八二〇九

町田久雄

三峯美術店

刀剣古美術

埼玉県秩父市野坂町一六六一二
西武秩父駅連絡通路町久ビル内
TEL 〇四九四一三三三〇六七
FAX 〇四九四一三三三〇六七

大阪刀剣会
吉井唯夫

美術刀剣、小道具、武具類の
売買、加工及び御相談承ります

大阪市中央区日本橋二一七一
TEL 〇六一六六三一一二二二〇
TEL 〇六一六六三一一二二二〇
FAX 〇六一六六四四一五四六四
FAX 〇六一六六四四一五四六四



オープンを目前にして意気上がる朝礼



「我が家のお宝鑑定」を訪れたお客さまと鑑定陣



新作名刀コーナーも関心が高かった企画 (右)特別企画展「清盛と頼朝の時代の刀」会場



今回の「大刀剣市」ディスプレイ大賞は？

大刀剣市がサンケイ会館から会場を移し、東京美術倶楽部で開催されるようになって、早いもので二十年を迎えた。

各店舗の展示様式にも毎年工夫が凝らされ、確実に進化している。限られたスペースをさまざまにデザインして独自の個性を表現し、お客さまにアピールすることはとても大切なことである。

今回も七十三もの店舗が出店していると、お客さまとしてはどの店が一番見やすく交渉しやすいか、選ぶのに一苦労である。より良い店作りには他店の展示を見学し、学習することは、来年度につながる実に有意義な方法である。初日の開店前は何かと忙しく、かつ朝礼があるので無理であるが、二日目か三日目の開店前に、朝の挨拶を兼ねて他店の展示を見学することを勧めます。私も、今年は何か面白い展示方法はないかなと思いつつ、楽しみながら歩き回る。

二十年前は、店舗の大きさに大小あるものの、展示方法は皆同じようであった。しかし、現在ではいろいろな様変わりしてきた。そこで、いくつかご紹介してみる。

今では自店のスペースを黒・朱・紺などのさまざまな布で囲っている店を多く見かけるが、最初に黒色で囲ったのは泰文堂の川島さんだった。美に引き寄せと簡単に囲い、店全体を引き締めている。

次に、店舗の存在感をより明確にするために、暖簾を最初に張り巡らしたのは銀座長州屋の深海さんだったと記憶する。今では多くの店舗が暖簾を掲げ、お店のアピールに役立っている。

背面の平台は通常二段であるが、これを三段あるいは四段にしたのも、やはり川島さんのアイデアである。何店舗か三段を希望しているが、この方法は少々難しいので注意が必要である。

背面の平台の高さが従来やや低く、お客さまが見づらいというので、十センチほど高くしたらどうかと提案したのが高橋正法君だ。三年前から全店舗がこれを実施している。

刀架けも年々進歩してきている。最初はベニヤ板で、側面が折れやすかったが、合板に改良してからはその心配はない。以前のものは高さもやや高く、安全性を考慮し、今では低くしている。

そして今回、刀架けのニューモデルを発見し、非常にうれしかった。もしディスプレイ大賞があったら、間違いなく優勝だろう。それは藤古堂にあった。

素材が透明なアクリルのために、刀身が傷つくことは決してない。自由自在に大きくも小さくも変えられ、加えて角度も変えられるように工夫してある。一番うれいのは、白布を掛ける必要がなく、美にシンプルで刀身をより引き立ててくれる。将来の刀架けの見本となる逸品である。現在は単価が少々高くついている(刀用一組八千円)との話であるが、大量注文することにより下げることが十分可能と思われる。

刀架けの話のついでであるが、白布掛けの名人は、川島さんのお嬢さん香奈子さんだ。無理を言って、重文室での毎年の展示や今回の新作名刀コーナーの白布掛けにご協力願った。

白布を左右対称に分け、富士山の稜線のようにきれいに仕上げ、刀剣をより美しく見せてくれる。上手に飾りたい方は一度彼女に教えてもらうとよい。

丸英刀剣店の飾り付けも一見の価値がある。空間を十分に取り、あまり多くを飾らない。そして側面に縦壇形式の独特の刀

報告「清盛と頼朝の時代の刀展」

今回の大刀剣市の特別展示のテーマは「清盛と頼朝の時代の刀」でした。

清盛というと、私がまず連想するのは仲代達矢さんです。子供のころ見たNHK大河ドラマ「新・平家物語」の仲代さん演ずる清盛と一門は、華やかな大鎧を着し、腰に半月のように曲がった刀を帯びていました。「清盛のころは馬に乗るからね。反りが高い方が使いやすいかったんだよ」。今は亡き父の言葉が思い出されます。

そうした反りの高い美しい太刀を、公益財団法人日本美術刀

台を製作し、スペースを有効に利用している。

倉敷刀剣美術館も参考になる。いわゆるスッキリした展示である。プライスカードは、展示にはどうしても邪魔な存在である。しかし、最も必要なものだ。この点、美に上手に処理している。ぜひ一度訪れてほしい。

プライスカードも各店舗さまざまであるが、近年、円だけの表示でなく、外人向けにドル建てで表示している店もあり感心した。

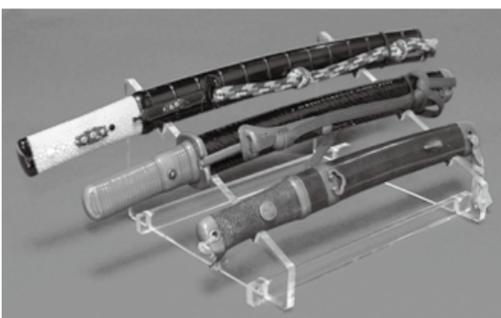
今回初参加の秀美堂の飾り付けも面白かった。背面の平台がなく、すべてガラスケースにして前面をオープンスペースにする方法だ。

また、今回初めて縦長のガラスケース(高さ二五〇センチ)の注文があり、見て回った。刀剣類の展示は無理であるが、刀装具は数多く展示でき、加えて

見やすい。今後は需要が増えるであろう。

限られたスペースをいかに有効に活用するかは、それぞれの店舗の努力にかかっている。毎年進化するディスプレイを真剣に考え、見習い、個性あふれる素晴らしいお店作りを期待する。紙幅の都合で、商品の飾り付けやプライスカードなどについては、次の機会とする。

(冥賀吉也)



アクリル製刀架けの使用例

展示されました。都落ちする忠度が忘れ形見の和歌を藤原俊成に託す場面、宇治の急流をものともせずに渡る坂東武者畠山重忠の雄姿、一の谷で討たれた敦盛の悲劇、牟礼高松の義経の晴れ姿と嗣信の最期、その義経が乱後に兄頼朝と対立して没落していく様子、平家全盛期に宮廷に仕えていた女性の悲運……。狭い空間に緻密な整頓で表現されたものは、諸行無常の世界観、日本人の美意識を感じさせる逸品ぞういでした。

背景に飾られた『平治物語絵巻』六波羅行幸巻も花を添えまきた清盛が乾坤一擲の策によ



銘切り実演に取り組む全日本刀匠会の面々



店舗前のオープンスペースが特徴



初出店ながらお客さまが絶えない

「清盛と頼朝の刀展」出品一覧

刀 剣		刀 装 具	
太刀 銘 安綱(古伯耆)(長府毛利家伝来)	(公益財団法人日本美術刀剣保存協会蔵(以下「協会」))	義家観乱雁図小柄	(重要刀装具)(組合員蔵)
太刀 銘 真景(古伯耆)	(重要美術品)(協会蔵)	銘 春明法眼(花押)天保戊戌季襦	(重要刀装具)(組合員蔵)
太刀 銘 大原真守(古伯耆)	(重要美術品)(組合員蔵)	一矢三鎧図鐔 無銘	(組合員蔵)
太刀 銘 兼(五条兼永)	(重要刀剣)(組合員蔵)	祇園忠盛図目貫 無銘	(組合員蔵)
太刀 銘 國永(五条国永)	(備前池田家伝来)(組合員蔵)	仕丁紅葉焚図小柄 銘 一乗斎弘壽	(組合員蔵)
太刀 銘 守次(古青江)	(重要文化財)(組合員蔵)	以仁王図小柄 無銘	(組合員蔵)
太刀 銘 助宗作(山城)	(重要刀剣)(組合員蔵)	熊谷敏盛図目貫 無銘 後藤宗乗	(重要刀装具)(組合員蔵)
太刀 銘 正恒(古備前)	(重要美術品)(組合員蔵)	牟礼高松図鐔 銘 政隨	(組合員蔵)
太刀 銘 正恒(古備前)	(重要刀剣)(組合員蔵)	屋島合戦図三所物 銘 程乗作 光守(花押)	(重要刀装具)(組合員蔵)
太刀 銘 友成作(古備前)	(重要美術品)(協会蔵)	録引図目貫 無銘	(組合員蔵)
太刀 銘 吉宗(古備前)	(特別重要刀剣)(組合員蔵)	碓知盛図縁頭 銘 水戸住美久作	(組合員蔵)
太刀 銘 豊後國定秀作	(重要美術品)(協会蔵)	安宅の関図縁頭 銘 中澤矩最	(組合員蔵)
太刀 銘 豊後國行平作(二本松藩主丹羽家伝来)	(組合員蔵)	浅妻船図鐔 銘 後藤法橋一乗(花押)	(重要刀装具)(組合員蔵)
太刀 銘 生ぶ莖無銘 古千手院	(特別重要刀剣)(組合員蔵)		
刀 無銘 古千手院	(重要刀剣)(協会蔵)		
		特別展示	
		龍笛 銘 旗竿(伝源義家所持)	(組合員蔵)
		『平治物語絵巻』六波羅行幸巻	(組合員蔵)

「大刀剣市」に初出店して

六月初め、大刀剣市出店の申込案内が届いたので、早速申し込んだ。初めての参加である。数日後の組合交換会の折、嶋田理事から「ブースの場所はここがいいですか」と聞かれ、図面を見せられた。気に入ったところがあつたので、お願いした。七月十七日に撮影のため商品

り、幽閉された後白河院と二条天皇の身柄を確保し、一夜にして形勢を逆転させた頼朝が活写された絵巻は、時代を雄弁に物語っていました。大刀剣市終了の翌日、お預かりした太刀五振を抱えて、刀剣

協会へ返却に参りました。五振とはいえ、国宝に準ずるクラスの名刀は重みが違います。「盛会のうちに終わりました。ありがたうございます」。帰路、私の足取りはいつになく軽いものでした。(銀座長州屋・小島つとむ)

「大刀剣市」に参加して

この度の大刀剣市に初めて参加させていただきました。私どもは岐阜県にて月刊通販情報誌『コレクション情報』をベースに、日本各地での展示会を開催しております。大刀剣市は今回で二十五周年を迎えるということで、刀剣界の歴史の節目ともいえる大刀剣市に参加できたことを光栄に思っております。

私も各店舗の展示方法を見学したり、世界各地からのイベントを楽しみに来場されたたくさんのお客さまと触れ合うことができ、世界一の刀剣展示即売会に圧倒されながらも、多くのことを学びました。役員の方々や組合員の皆さまには大変お世話になりました。まだまだ若輩者ではございますが、刀剣界発展のため、全力で頑張っていきたいと思っております。どうかよろしくお願いたします。(株)コレクション情報 村上竜太

も上る多さに驚き、それだけですっかり売れたような気持ちになり、数字だけがどんどん膨れ上がってしまうのだった。「捕らぬ狸の皮算用」とは本当にこのことだ。売上予想は大刀剣市初日に泡と消え、現実はそのなかに甘くないことを思い知らされた。しかし、来客数は多く、初日、店前だけでも十人ほどいることが多くあった。二日目の土曜日は前日よりお客さまが多く、一番多いときは二十一名の方が私のブース内にいた。お客さまから「これを見せ」と声が掛かると、ケースから品物を取り出す、見ていただいている途中で別の方から声が掛かっても、前の方が見終わるまで待っていただかなくてはならないほど混んでいた。三日目も日曜日とあってお客さまが多かった。刀剣の好きな方とお話しする機会も多く、一

初出店を心配して何度も当店のブースを見に来てくださった深海理事長をはじめ、大刀剣市の成功のために尽力くださった役員の方々に、お手伝いくださった多くの方々に御礼申し上げます。(秀美堂・小島昇)

日が短く感じられた。トントンと売れて売れることもあり、何とか売上もできた。閉店の時間となり片付けが始めたが、ハッと気がつく、周りには誰もおらず、荷を車に積み込んだのは既に八時だった。今回、十数年ぶりにお会いできた方、三十年來お付き合いのある方、現在お世話になっている方などたくさんの方とお話しできたし、東京美術倶楽部の美しい会場で楽しく仕事をできたことに感謝している。組合員の皆さまとも一緒にの機会が得られ、刀剣業界が良くなるために今後何らかしい思いも強くなった。

刀剣・小道具・甲冑武具
目白 **飯田高遠堂**
代表取締役 飯田慶久
〒161-0033
東京都新宿区下落合3-17-33
TEL 03-3951-3312
FAX 03-3951-3615
<http://www.iidakoendo.com>

(株)美術刀剣松本
松本 富夫 義行
〒278-0043 千葉県野田市清水199-1
TEL 04-7122-1122
FAX 04-7122-1950
www.touken-matsumoto.jp

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑
日本の伝統文化を彩る
JAPAN SWORD CO., LTD.
(株)日本刀剣
伊波賢一 Ken-ichi Inami
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1
TEL 03-3434-4321
FAX 03-3434-4324

銀座 **泰文堂**
〒104-0061 東京都中央区銀座4-3-11
松崎煎餅ビル4階
(株)銀座泰文堂 代表 川島貴敏
TEL 03-3563-2551
FAX 03-3563-2553
フリーダイヤル 0120-402037
<http://www.taibundo.com>

刀剣 高吉
古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!
連絡先 **090-8845-2222**
代表者 高島吉童
東京都北区滝野川7-16-6
TEL 03-5394-1118
FAX 03-5394-1116
www.premi.co.jp

刀 剣 界

「新作名刀コーナー」での出会い

「大刀剣市2012」は十月二十六〜二十八日、東京美術倶楽部において開催されました。

四階には、日本美術刀剣保存協会と日本刀文化振興協会のそれぞれが推薦した五振ずつ、計十振の現代刀工の作品を展示する「新作名刀コーナー」が設けられ、私の太刀も展示していただけの運びとなりました。

また、一度も味わったことのない大刀剣市の雰囲気を感じてみたいと、思い切って姫路から東京に向かいました。

会場に着くと、既にたくさんの人々が会場を埋め尽くし、想像以上の盛況でした。不景気と言われて久しいこの時代に、日

本刀への高い関心は関係各位の創意工夫の賜物であり、刀を作っている私にとってもありがたい光景でした。

また、魅力ある刀を作られていた刀工の皆さまと同じ場所に飾られることは、高い目標に向かって挑戦し続ける動機付けにつながりました。

二十七日の一日だけでしたが、新作名刀コーナーの説明係をさせて頂きました。せっかくなので東京にまで来たのだから、与えられたチャンスを生かして、古今の名品が入り混じる中、現代刀に興味を抱いている方々へアピールしようと思いいちました。しかし、口下手な

ものですから、思いとは裏腹に、なかなかきっかけがつかみません。

お客さまとの会話の中で、ひとつ思い切った質問をしてみました。「今作られている現代刀は、魅力的ですか?」。そんな強引な質問にもかかわらず、大半の方は、「いいですね。綺麗。何か凛としている」と良い印象の言葉をかけてくださり、大変ありがたく思いました。

私たちが一途に作っている日本刀を見ていただけるときのような機会は、とても大切なことだと確信しました。その機会を作ってくださった全国刀剣商業協同組合の皆さまに感謝します。人生の過程で、日本刀との出会いが豊かな生き方につながる

一つの要因となることで、愛刀家の皆さまがさらに増えてください。

ある外国人の眼

(刀工・明珍宗裕)

驚いたことに、老若男女すべての人々がこのイベントには来場していました。

外国として日本の愛好家たちがこの数日間、日本刀の世界に酔いしれたことでしょうか。

見物するため、学ぶため、またビジネスで、多くの人が訪れていました。遠路はるばるやってきたのです。

大刀剣市は二フロアで開催されました。訪れた人々はその週末を日本刀、刀装具、関連品に思いを馳せて満喫する機会を得たのです。そこで訪れた人

されば、と願っております。

私たちの喜ぶ顔を見れば、彼らが満喫していたのは言うまでもありません。その展示品の多さだけではなく、素晴らしい品々が陳列されており、訪れた私たちのほとんどが驚かされたことでしょう。

個人的には、この大刀剣市は新しい出会いに加えて、しばらく会っていなかった旧知と再会する良い機会でした。

多くの外国人も訪れていました。彼らと話すとき、このイベントが外国として日本の愛好家たちにとってどれだけ感謝されて

いるかが伝わってきます。みなそれぞれが、「気持ち良く楽しんだことでしょうか。エンジョイできなかった人などはいないはずですよ。」

これは刀剣愛好家達が集う四階のビュッフェです。そのビュッフェには日本風のランチボックス(弁当)を広げる小さなカフェテリアがありました。

もしかなうなら、外国人にとって写真以外ではめったにお目にかかれない匠の技(銘切り)や玉鋼などの実演、展示即売などをさらに充実させていたきたいものです。

刀剣・書画・骨董

和敬堂

土肥富作・土肥豊久

〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16

TEL 0258-33-8510

FAX 0258-33-8511

<http://wakeidou.com/>

日刀保と組合が意見交換

同時期開催の全国大会と大刀剣市について

師走も押し迫った十二月二十六日、公益財団法人日本美術刀剣保存協会(以下「日刀保」と当組合の間で、平成二十五年年度開催予定の日刀保「全国大会」(十月二十六〜二十七日)と、当組合「大刀剣市」(十月二十五〜二十七日)についての意見交換会が行われた。

会場は日刀保。出席者は、日刀保が小野裕会長・柴原勤専務理事・後藤安孝事務局長の三名、



左から日刀保の小野会長と柴原専務理事

組合側が深海理事長・猿田副理事長・飯田理事・眞賀理事、それに伊波の五名であった。ほぼ同じ期間の開催は、既に日程の決定している大刀剣市の来場者が今や延べ三千人になり、ここには日刀保会員である愛刀家も多く含まれているため、遠方来場者の利便性を考えた日刀保の、画期的な計画であった。

一方、参加者の行動が集中しにくい、両会場間の移動、全刀商組合員の参加方法など、諸事について配慮も必要との声が上がりが、以前より「日刀保・組合・愛好家の」三位一体でありたい」と述べられている小野会長と、これに賛同する深海理事長との間で、今回の意見交換会

が持たれたのである。まず、日刀保の刀剣愛好家育成ならびに組織活性化と、当組合の刀剣・刀装具類販売機会の広報および拡大に、相乗効果が期待されるとして協力体制が確認された。

両会場の距離は近いに越したことはないが、全国大会には公益財団法人認定記念行事の意味合いもあり、当初より刀剣博物館に近い京王プラザホテル会場の準備計画が進んでいた旨、説明があった。その中で、実質行事が重なる土曜日の移動手段・開催時間や、双方の案内資料配布ブースの設置、参加者の双方入場メ리트などに加え、全国大会懇親会に駆けつける当組合員の扱いなど、幅広く前向きな意見が活発に交換された。

また組合として、今後このような企画があれば、会場を含めた事前意見交換会をして、さらに良い企画にしたいとの申し入れを行った。



左から深海理事長・猿田副理事長・飯田理事・眞賀理事 (撮影/伊波)

- この件の経過については、今後も本紙で紹介していく予定なので、ぜひ注目していただきたい。
- (伊波賢一)
- 〈白鞘の部〉
 - ・優秀賞 永洞修 河合広明
 - ・努力賞 塚本剛之
 - 〈千葉賞〉
 - ・優秀賞 平井隆守 菊池真修
 - ・努力賞 神山貴恵 刈田直樹
 - 〈三村賞〉
 - ・優秀賞 大西伸夫 塚本浩之
 - ・努力賞 三村昌三 各務弦太
 - 〈木屋賞〉
 - ・優秀賞 松村壮太郎
 - ・努力賞 井上聡
 - 〈是澤賞〉
 - ・優秀賞 是澤光昌
 - ・努力賞 平井隆守 菊池真修
 - 〈神田賞〉
 - ・優秀賞 神山貴恵 刈田直樹
 - ・努力賞 大西伸夫 塚本浩之
 - 〈各務賞〉
 - ・優秀賞 大西伸夫 塚本浩之
 - ・努力賞 三村昌三 各務弦太
 - 〈大河賞〉
 - ・優秀賞 大西伸夫 塚本浩之
 - ・努力賞 三村昌三 各務弦太

第65回「刀剣研磨・外装技術発表会」開かれる

公益財団法人日本美術刀剣保存協会では、日本刀の研磨と外装に関する伝統技術の保存・向上を図ることに、広く現代技術の優秀さを認識してもらうことにより、文化財としての刀剣への関心を高めることを目的として「刀剣研磨・外装技術発表会」を開催してきたが、その第六十五回発表会の表彰式が十一月三十日、刀剣博物館四階講堂で開催された。

今回の出品総数は無鑑査を除き七十三点で、部門別では研磨三十九点、白鞘九点、鍔七点、拵三點、柄巻十五点であった。各部門の入賞者は次の通り。

- 〈鍔の部〉
 - ・優秀賞 三島幹則 宮本恒之
 - ・努力賞 久保純一 伊藤俊克
 - 〈拵の部〉
 - ・優秀賞 曾我部明
 - ・努力賞 久保純一 橋本幸律
 - 〈柄巻の部〉
 - ・優秀賞 飯山隆司
 - ・努力賞 出口智之 笠原幸幸
- これらの入賞作品展は十二月四日から十六日まで、刀剣博物館二階展示室で開催された。
- なお、十一月十四日に開かれた審査会には公益財団法人日本刀文化振興協会から五名が出席し、審査に当たった。これは、公益財団法人間の審査員派遣要請とその受諾という形で実現したものである。
- 当組合としても、刀剣界の発展のために両公益財団法人の交流が図れるよう尽力し、その結果、二回の懇談会や大刀剣市の新作名刀コーナーなどの成果も見えてきた。今回の審査員派遣は、これらを受けた交流事業への一層の進展とも見られる。
- 両協会のコンクール事業として



表彰式に参加した受賞者・関係者

は、刀文協に「新作日本刀・研磨・外装刀職技術展覧会」、日刀保に前発表会と「新作名刀展」があり、業界では趣旨に大差がないなら統合してはどうかという声もある一方、並立するならば、いずれにも出品しなくなるような特徴あるコンクールにしてほしいとの向きもある。

行き掛かりはさておき、両協会による思い切った検討が期待されている。

(服部暁治・生野正)

創立から二十五周年を振り返る

平成二十四年で組合設立二十五周年なのですが、実際には三十周年としても差し支えないかもしれません。発起人の選出、意思確認、有志賛同者への呼びかけ、運営資金づくり、法的ノウハウの習熟などに五年近く、いやそれ以上の年月を費やしていたと思われま

せん。先輩刀剣商諸氏が熱い趣旨を掲げ、皆一丸となって目的に向けて邁進していた数年間を力ウントせずにはいられません。

長い設立準備活動の拠点として、新橋のオフィスビルの一階に事務所を借りていました。現在の組合事務所がビジネス街ではなく、コリアタウンの新大久保にあるのは、順序が逆のような気がします。こちらは組合所有物件ですから納得。

かつての拠点事務所はくしくも、現在の組合主要事業の大刀剣市と組合交換会の開催場所である東京美術倶楽部から二、三分の至近にありました。ここ新橋界隈は都心で交通の便も良く、官庁街にも近く、美術骨董店が集積しているなどの理由で選んだのでしよう。

組合設立の趣旨である刀剣商の社会的地位の向上、刀剣商のための刀剣会館設立という設立当時の目指した方向と

完全一致とはいかなくとも、方向性は確実に進んでいるようです。

草創期の組合に尽力された諸先輩が、組合が幹から枝を四方八方に伸ばし、実を結んでいくのを見守ってくれていることでしょう。

今では、毎年の大刀剣市、交換会市場開催、機関紙誌の発行、社会貢献活動、政府系金融機関との取引、マスコミとの交流、商品・仕器の大量一括購入等々、着実に実を結んできています。

エピソード的になります。が、組合の代名詞になっている大刀剣市も、組合創始者の一人、故荒勢英一氏は、初期には開催をためらっていたと記憶しています。

大刀剣市恒例のお宝鑑定会も初めから恒例ではありませんでした。賛否両論あったのですが、ちょうどそのころテレビで同趣の番組が人気を博していたので、それにあやかったわけですね。それにしても、初回から鑑定依頼が長蛇の列をなすとは……。国認可の組合の威力を感じます。

組合の力、文字列を変えざるゝ組織力に見えてきます。実際、対外折衝の場で個人で向かうのと組合組織の場合とでは、雲泥の差があったのです。その実例はまたの機会に譲ります。

(服部晧治)

NEWS & TOPICS 横綱白鵬が土俵入りの太刀を打ち初め

十二月八日、横綱白鵬が奈良県桜井市の月山日本刀鍛錬道場を訪れ、月山貞利刀匠とともに太刀の打ち初め式に臨んだ。

白鵬は大相撲九州場所所で四場所ぶりの二十三日目の優勝を決め、今年は北の湖の二十四回、朝青龍の二十五回を超える記録に期待がかかっている。

期せずして、春場所前には紗代子夫人の地元の徳島後援会から、化粧まわしと太刀が贈られることになった。

土俵入りの太刀を製作するのが月山刀匠とあって、横綱自ら

が打ち初めをしたという希望し、この日の実現となったもの。

月山刀匠は「刀は日本の精神の象徴。心を込めて、全身でしっかりと打ち込んでください」と語りかけると、

白鵬は「日本の伝統文化に触れ、しかも自ら鍛えることができうれし」と感激していた。

完成すると、中心には白鵬が好んで用いる

NEWS & TOPICS 大阪美術刀剣業組合が日高川町に義援金

和歌山県御坊、御坊東、御坊南の三ロータリークラブが所属する国際ロータリー第二六四〇地区(北中登二ガバナ)と大阪美術刀剣業組合(小林幸信組合長)は十二月四日、昨年九月の台風十二号豪雨で大きな被害

を受けた同県日高郡日高川町に義援金各十万円を寄付した。

両団体の関係者ら約三十人が訪問。第二六四〇地区を代表して御坊RCの塩路良一さん、刀

剣業組合長の小林さんが「一日も早い復興を願っています」と

玉置俊久町長に義援金を手渡した。玉置町長は「温かい支援、本当にありがとうございます」と感謝し、完全復興して、元気になった日高川町へまた来てくださ

いと述べた。ロータリークラブは各種支援事業を展開してあり、

玉置町長(前列中央)に義援金を手渡した関係者町長から右2人目は当組合猿田副理事長



「夢」「心」「運」の文字が刻まれる。 地元太田市に大隅俊平美術館が開館

群馬県太田市に十一月十八日、「大隅俊平美術館」が開館し、十二月二十八日まで開館記念展が開かれた。

美術館は、大隅刀匠の作品を常設展示するために、刀匠の住んでいた家を改修したもの。今回の開館記念展では作品十六振が公開された。

内訳は、大太刀一、直刀一、太刀五、劔一、脇指一、薙刀一、小太刀二、短刀四。中でも大太刀は刃長139.2センチの大

作。いずれも「直刃の大隅」と言われた刀匠の面目躍如たる作品であった。これらの作品は、新年からは年間四回の展示替えが行われる。

大隅刀匠は昭和七年生まれ。本名貞男。故宮入昭平師に師事し、若くして頭角を現した。正



白鵬関と月山貞利刀匠(その右)一門

今回、刀剣業組合が賛同。第二六四〇地区の事務所のある堺市の一三クラブは、被災地支援として昨年、湯たんぽと餅を寄贈している。



美術館は大隅刀匠の邸宅を改修して開館した

組合こよみ (平成24年11月~12月)

- 11月1日 銀座刀剣倶楽部会場にて『刀剣界』第8号編集委員会を開催(校正)。出席者、深海理事長・清水専務理事・綱取理事・服部理事・持田監事・飯田慶雄氏・大平将広氏・生野正氏・新堀賀将氏・藤岡弘之氏・松本義行氏・宮澤琢氏・土子民夫氏。
- 6日 銀座長州屋にて『刀剣界』第8号再校。出席者、深海理事長・綱取理事・服部一隆氏・土子氏。
- 16日 『刀剣界』第8号入荷。
- 17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加65名、出来高16,579,900円。
- 17日 東京美術倶楽部にて『刀剣界』第9号編集委員会を開催。出席者、深海理事長・清水専務理事・嶋田理事・綱取理事・服部理事・冥賀理事・持田監事・赤荻稔氏・生野氏・新堀氏・藤岡氏・松本氏・宮澤氏・土子氏。
- 12月17日 東京美術倶楽部にて組合交換会を開催。参加60名、出来高14,432,000円。
- 17日 東京美術倶楽部にて『刀剣界』第9号編集委員会を開催(校正)。出席者、深海理事長・清水専務理事・伊波常務理事・綱取理事・服部理事・持田監事・飯田氏・大平氏・生野氏・新堀氏・藤岡氏・松本氏・宮澤氏・土子氏。
- 26日 第26回「大刀剣市」と公益財団法人日本美術刀剣保存協会の全国大会との開催日が重なる件につき、同協会に赴き協議を行う。参加者、深海理事長・猿田副理事長・伊波常務理事・飯田理事・冥賀理事。

刀 劍 界



平成も二十五年目を迎えるよう
している。組合も満二十五年が経
過し、その歩みはまさに平成と時
代を共にしている。

ここ数年間は経済の諸指標の動
きも低調で、世には不景気風が蔓
延しているが、私たち業界のこの
二十五年間はどうかであったか、数
字を眺めてみよう。

経済を表す金利動向の指標とし
ては、日経平均株価、国債利回
り、GDP、対ドル・ユーロ相
場、コルレート、米国FLE
トなどが挙げられるが、一番の基
準と考えられているのは日経平均
株価であろう。

この原稿を書いている時点で
は、二〇一一年三月の震災以来の
高値といえ二万四百円前後で推
移している。この株安によって世
の中が不景気であるといわれ、故に
わが業界も振るわないのであろう
と考へる向きも少なくない。

しかし、株価は二十五年前とそ
二万七千円をつけてはいたが、十
年前の平成十五年には七千七百円
の時もあり、円高ドル安といっ
ても現在の八千六百円が不景気の極
みかというところではなく、平成
七年には八千三百円の時もあった。

さらに言うならば、GDP(国内
総生産、連鎖方式)実質年度を見
ると、平成二十四年度は0.09
1であるが平成十三年度はマイナ
ス0.1、平成十年度はマイナス
1.5の数値を示しており、新発
国債十年物利回りも現在の0.8
に対して、平成十五年には0.5、
平成十年には0.82の数値を示
したこともあった。

さて、このように現在の経済指
標の動きを下回った時期のわが業

其之五 深海 信彦

界はどうかであったかを振り返って
みると、対ドルレートが七十九円
を記録した阪神大震災の年の平成
七年、国債利回り・GDPともに
落ち込んだ小淵内閣の平成十年、
株価が最低の七千七百円をつけ、
国債利回りも最低の0.5%とな
ったイラク戦争時の平成十五年、
いずれを取ってみてもわが業界は
危機的状況にはなく、小異はあつ
てもおおむね順調に平成不況の山
を乗り越えてきたと言え得よう。

ならば何故に、平成十九年に
米国のサブプライムローン問題によ
る世界同時株安と、翌年のリーマ
ンショックに端を発した現在の不
況が、今までになくわれわれに重
くのしかかっているのだからか。
さまざまなかことが考えられるが、
何と言っても平成二十三年の東日
本大震災の影響が第一に挙げられ
よう。このことは、生命やモノの
破壊にとどまらず、人のマインド
までも消沈させた未曾有の出来事
であり、経済の立て直しを大幅に
遅らせる最大の要因ともなった。

第二は、異論もあるが、政権
運営に不慣れた民主党による経済
政策が必ずしも奏功しなかったこ
とが考えられる。

第三は、米国の、ギリシャをは
じめとするEU諸国の不況が、わ
が国の足を引っ張り続けたことも
否めない事実であろう。

第四には、やはり業界特殊事情
であるところの、同時期大量五名
の交換会不払い事故発生も業界冷
え込みの大きな原因であった。

第五番目に挙げられるのは、不
況とは関係ないが、従来までの少
人数のムラ社会からの業界の変貌
が挙げられる。従来は修業を経て

独立開業、あるいは親から子への
事業継承といった互いに濃密で小
さい社会から、パソコンの普及に
伴いインターネットなどを駆使し
て他業種から参入する業者が増加
して業界のバイが大きななり、ム
ラ特有の慣例から前進して一般企
業の考えに近くなった。従って、
他業種並みに経済諸指標の動きと
の連動性が高まっていると言っ
ておき、世の中の好不況とは関
係無という特殊な商売ではなくな
りつつあると言え得よう。

このような状況下にあるわが業
界も、平成二十五年度はこれら多
くが払拭され、再び活況を取り戻
す公算が強い。

まず第一の震災後復興について
は道筋がつけられ、復興需要とも
言ふべき追い風に転じかねない勢
いが見られること。

第二は自民党安倍政権による大
規模な経済対策により、景気上昇
の期待感が人の心に宿りつつある
こと。

第三の米国をはじめとする諸外
国にも景気改善の動きが見られる
こと。

第四の業界特殊事情のショック
も、時とともに和らいできている
こと。

第五の業界の経済構造の異質化
も、徐々に同質化・安定し、より
前向きに業界の近代化を図る土壌
が整いつつあること。

泣く男 生野 正さん

職場からクルマでの帰路、銀
座一丁目からKK線に乗る。K
K線とは首都高白魚橋から汐留
までのバイパスだが、細長い二
階建てのビルの屋上を大部分乗
り継いでいく。走っている方は
それに気づかず、高速道のように
走ってしまうが、ここは一般
道だ。

銀座の夜景を見ながら、泰明
小学校の先の左カーブで四速か
ら三速にギアを落とす。俺の
四十歳になるポコッとは、ここ
でパンパンとバックファイアの
音を出す。今夜も軽快に走って
いるぞ、と。

ルミミラーを見ると、今の
カーブでタイヤを鳴らし、白煙
を上げながらもすごい勢いで
追いつかなくてくるクルマがあ
る。大きな二つのヘッドライト
がみるみる近づき、新橋駅近く
の車線幅の広が
るところで瞬時
に俺を追い抜い
ていく。そのド
ライバーを横目
で見ると、ゲ
ッ、川島副理事
長。氏のサーキ
ット走行会用の
虎の子のドイツ
製スポーツカー
は、長四角のテ
ールライトをみ
るみる遠ざけて

いく。
副理事長と理事が、キキッ
だのパンパンだのと音を立てて
いる真下で店を開いている刀剣
商がいるのをご存じだろうか。
「うるせーよ。シクシク」
生野正はこの夜も泣いてい
た。二十四年の正月、実家の墓
参りで経をつかえずに読めた。
突いた鐘の音は澄み渡って
いた。その足で銀座に来て、良い
物件の広告に出合った。二カ月
後には貯金を注ぎ込み、店をオ
ープンした。その場所は銀座フ
アイブ二階。古美術店や工芸品
の店で賑わう一角だ。



誠友堂にて店主の生野正さん(左)と筆者

さて、店を出したのはいい
が、次のステップにおいての悩
みが尽きない。
暇でどう過ごしているのかわ
からない、ストレスで体重が十
キロ減ってしまった、髪がどん
どん薄くなっている、すべが
道路で夏は暑い、とどめに、そ
こを乱暴な運転でクルマが走
る。これだけが生野氏の泣き言
ではない。

最後に、生野氏の悩みの一つ
問題のテナント料の内訳だが、
川島副理事長がキキッとかやっ
て路面ミューを削り落としたK
K線のその道路管理費は、生野
氏のテナント料で賄われている。
深海理事長もドイツ製の大型
セダンで社にきたときは、こ
こを通過して帰路に就く。週末の
ゴルフでの自身の活躍を思い出
し、「わははー」と笑ったりし
て通るのだろうか。

「網取さん、聞いてくれよ。
このお家賃〇〇坪の割に〇〇
です。つきましては、広く情報を
お寄せくださるようお願いし
ます。イベント・レポート、催事
情報をはじめ、ご覧になった新
聞や雑誌記事、TV番組の感想、
エピソードなど、何でも結構
です。組合員・賛助会員以外の方
も歓迎です。ただし、紙面の関係
で編集させていただきますことがあ
りますので、ご承知おきくださ
い。」

「網取さん、聞いてくれよ。
このお家賃〇〇坪の割に〇〇
です。つきましては、広く情報を
お寄せくださるようお願いし
ます。イベント・レポート、催事
情報をはじめ、ご覧になった新
聞や雑誌記事、TV番組の感想、
エピソードなど、何でも結構
です。組合員・賛助会員以外の方
も歓迎です。ただし、紙面の関係
で編集させていただきますことがあ
りますので、ご承知おきくださ
い。」

もう一度言う。KK線は一般
道だ。調子良くクルマを飛ばし
て帰る俺も含める理事三名が、
おそろしく全責速度違反なのは今
さら言うまでもない。

「本紙購読について」
『刀剣界』は隔月で発行しています。現在、キャンペーン
中につき、ご希望の方に一年間無料でお送りしています。
組合員・賛助会員以外の方で継続購読を希望される方は、お
名前・送付先住所・電話・メールアドレス(あれば)を
左記まで書面でお知らせください。また、お知り合いで刀剣
に興味のある方がいましたら、教えてあげてください。

若者広場

工藤将成

「想い」を託される 品格ある刀を

平成二十四年の大刀剣市では、最終日に全日本刀匠会関東支部のブースで当番を務めました。

今回、日本美術刀剣保存協会と日本刀文化振興協会の両協会が共同で新作刀の展示を行ったのは、非常に有意義でした。

私は両協会が分かれてからはコンクールへの出品をしてこなかったのですが、全日本刀匠会の二会員としては、この厳しい時代、やはり刀剣界が一丸となって困難を乗り越えていってほしいとの想いがあります。

美術刀剣界の一大イベントである大刀剣市で、このような機会を設けていただけたことは大変にありがたい話です。狭い世界ですので、これからに向けて前向きに歩んでいければ良いと願っています。

さて、私が刀鍛冶になった経緯ですが、高校在学時にふとしたきっかけで刀鍛冶になると決意し、卒業後に福島県の藤安将平門に入りました。

作風としては直刃から乱れ刃まで焼きますが、在学中から山



☆連絡先 〒376-0161 群馬県桐生市梅田町 二二四四五
☎〇二七三三三〇一三三

城物などの名品に惹かれていて、それらを意識しているのは今でも変わりません。そのため、小手先で工夫して古作を追うのではなく、技術的本質に立ち返って本来の日本刀作りはどうであったのか、自問自答しながら、品格というものに重きを置いて先を目指しています。

特に関心しているのは、切削・研磨機械が発達している現在はいかようにもなると考えられがちですが、実はどうにもならない難しさがあると思っています。なぜなら、自分が理解できている姿しか形に表せませんので、名品の中でも良い姿を手本に、より深く理解できるように努力をしています。

現代において、われわれ刀鍛冶の役割として大事なのが、お守り刀ではないかと考えています。考え方はさまざまですが、やはり新作の刀に「護り」の想いを託したいという方は多いと思いますので、その想いに応えるべく精いっぱい製作に当たっています。

今後願わくば、いつまでも大切にされるような、翻すと大切にしたいと思われるような、それこそ見識の高い人たちにも何か光るものを感じさせる刀を作っていきたいと思っています。

拙作を見た折には、ご意見・ご指導をいただけると、大変にありがたい存じます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

■一筆啓上
大刀剣市の人気ブース、現代刀匠銘切実演で、ひととき専断だった男の奮闘を覚えていたろうか。
工藤将成(まさなり)の鍛錬所は、桐生市の郊外にあった。周りに民家が多く、深夜まで鍛冶仕事はできなさそうなどろだ。聞けば母親の実家の敷地に建てさせてもらったのだと言った。
熱いコーヒーと美味しいプリンで迎えてくれる工藤刀匠は、その昭和らしいどこか懐かしい空間がよく似合う。
われわれ商人を突き動かすものは、利益という目の前にぶら下がった人參だと言ふは辛辣なところか。工藤刀匠を動かすものは、自分の好きな刀を作りたいという思いにほかならない。そして目標に向かって集中力を絶やすことはない。輝かしい実績はまた数えるほど。バックオーダーだってたくさん抱えているわけではない。
しかし藤安将平刀匠に弟子入りした十代、見据える道は決まった。今もそれを見失うことはない。今、視野に入れているものは来年度の全日本刀匠会主催の「お守り刀展」に出す短刀だと言ふ。コンクールというものは基本的にはコンペティションと違い、何点対何

私が出会った珍品

弓槍

銘 神風新管
刃長7.9cm 弱 袋莖6.45cm
地鉄柱目 刃文直刃



弓槍(尖弓)

〔射法真書〕巻下より



尖

二十五分

二十三分

ご紹介するのは、袋槍の一種である弓槍というものです。弓槍とは、弓の躬(弓の弦を掛ける部分)のよこにつける

二、三寸ほどの両刃造りの短穂槍のことです。弓槍はまず弓術の方から始まり、「日置流弓目録」にあり、

後世の口伝書によると、いずれも袋槍は末躬(弓の上部)に紐で結び留め用いるとしていました。この弓術の伝が槍術の心得として取り入れられ、佐賀藩の宝蔵院流の伝書にも記されています。

これを見ると、弓足軽には弓槍(躬槍)が弓矢とともに支給されていたようである。(藤岡弘之)

刀職紹介

第9回

〔研師〕
小野博柳さん



研師の小野博柳(本名博)さんは、昭和十九年生まれ六十八歳。湘南の通称で親しまれている神奈川県南部の藤沢市在住です。

賞され、昭和五十年に無鑑査認定を受けています。昭和四十二年から平成十八年までの四十年間にわたって、博

博柳さんは「古くは千年以上前から伝え残されてきた日本刀を、私たちは今後も同じく八百年、九百年、千年と現状をできる限り維持し、後世へ伝え残していく義務があると思います。刀を今以上に大切に扱うことを心掛けていきたいです」と語っておられました。

わわれ刀剣に携わる者も同様に心掛けていきたいものです。

連絡先 〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂五十九二〇
☎〇四六六三三六二二八四 (川島貴敏)

父であり師である光敬先生の元での修業を経て、研磨技術等発表会で特賞や優秀賞を数々受

かんだ笑みを浮かべた。

家庭人でもあり、二児の良きパパでもある工藤将成刀匠であった。(網取譲一)

今、視野に入れているものは来年度の全日本刀匠会主催の「お守り刀展」に出す短刀だと言ふ。コンクールというものは基本的にはコンペティションと違い、何点対何

点で誰の勝ちというものではない。そんな舞台こそ工藤刀匠の作品は輝くのだろう。

枯れすぎず、かつふくよかすぎないふくら。そんなベテラン女優のようなたたずまいの短刀が今、構想に入った。火床に火がくべられるのを、スプリングハンマーがスイッチオンを今や遅しと待っている。

さて最初に書いた美味しいプリンだが、丁寧に漉され、香り立つカラメルソースがかかっている。桐生には気のきいた洋菓子屋さんがあつたのだと思いきや、「僕が作ったんですよ」と！筆者も一度雑誌を見て挑戦したことがあるが、デブを嫌い砂糖を少しレシピより減らしたところ、全くプリン

の味にならず、お菓子作りは計量が大切なのかと気がかされたのを思い出す。「料理のさじ加減、火加減は鍛冶仕事と似たところがあるんですよ」と、工藤刀匠ははにかんだ笑みを浮かべた。

刀 剣 界

ブック・レビュー BOOK REVIEW

日本刀はすべて芸術である

『名刀と日本人―刀がつなぐ日本史』

渡邊妙子著 二二〇〇円十税 東京堂出版

渡邊妙子先生は、静岡県三島市にある佐野美術館の館長です。私は渡邊先生自らが講師をされる同美術館の日本刀講座に通っていましたが、毎月のテーマに沿って日本刀の魅力をお話することなく伝える渡邊先生の講話には常々感服し、先生のように、日本刀について語れる刀剣商になればと、受講するたびに刺激を受けています。

書籍『名刀と日本人―刀がつなぐ日本史』の出版を間近に控えたその先生に『刀剣界』の編集委員としてインタビューをする機会に恵まれました。

読者が本紙第九号をご覧になるころには既に本書が上梓されていることと思います。

「日本刀は武器であるが、そのすべてが芸術である」。これが、本書を通じて最も読者に伝えたかったこととお答えになりました。収集するためではなく、商いのためでもなく、研究者として日本刀を長きにわたって求めてこられた渡邊先生の日本刀観がこの言葉には表されていると思います。

「刀剣商はコレクターの知識不足を補えるように勉強し、刀剣の橋渡し役として自分の感性を磨いてください」。われわれ刀剣商に対するコメントを求めたところ、頂いた言葉です。

今自分が、数百年の時を刻んで受け継がれてきた日本刀の魅力を後世につないでゆく役割を担うためには、日本刀の魅力を誰にでも

※組合への本書購入申し込みに限り割引します。一冊二二六〇円(税・送料とも)。二冊以上は送料が異なりますので、組合事務局までお問い合わせください。

(松本義行)

鋼の科学的研究を地場産業の育成に生かす

『刃物の見方』

岩崎航介著 三〇〇〇円十税 慶友社

長く稀覯の書であった『刃物の見方』が復刻された。筆者も濃紺クロス装の初版を持っていたが、請われて貸与するうちに紛失してしまい、コピーで代替していたものである。

本書は著者が亡くなった一年半後の昭和四十四年二月に、地元新潟県の三条金物青年会が資金を出して出版された。

当組合顧問で人間国宝の天田昭次さんによれば、戦後の三条の刃物業界は、岩崎航介さんによって開眼したという。ドイツのゾーリンゲンなど、世界の優秀な刃物に対抗していくにはどうしたらいいか、自ら研究を重ねながら、刃物鍛冶や問屋の後継者らの指導に当たった。



本書には刃物以外にも、日本刀やその原料である玉鋼に関する論考もある。五十に及ぶ鍛冶の秘伝書を発掘し、技術の解明を試みたり、最も優秀な玉鋼を利用して剃刀を製作するなど、体験に裏打



ちされた話題に興味は尽きない。さらに四十七年の三刷の際には、三十年当時に行った名倉砥と本山砥に関する現地調査の報告記を追加している。

また、岩崎さんにはさまざまなエピソードがある。初め東京帝大文学部国史学科に学んだが、日本刀を深く知るために工学部冶金学科に再入学し、大学院を含めて十一年在籍している。その間に、日本刀の復興者であった栗原彦三郎の依頼で全国を行脚し、当時の刀鍛冶調査に当たったこともあった。

熊本で十文字槍の製法を伝える延寿太郎宣繁を探し出したのは、この折である。伝統の絶えることを憂えて投稿した『福岡日日新聞』を見て支援の名乗りを上げたのが金剛兵衛の子孫・盛高靖博であり、その後、谷川盛吉・延寿宣次父子らに受け継がれてゆくのである。

今回の復刻の契機は、三条の刃物業界の要請であったと聞いている。死後五十年近くがたち、地元でも面識のあった人々はわずかになりつつあるが、偉業は長く伝えられるということであろう。幸い、本書の売れ行きも悪くない。申し込みは慶友社(☎〇三三三六二一三六一)へ。(土子民夫)

〈寄稿〉大英博物館での夏

昨年の夏、私は大英博物館からの依頼で、同館の所蔵する約三百振の刀の調査といくつかの鞘の修理の仕事に当たっていただきました。実際に現地を訪れ、博物館の方々に刀の取り扱いや手入れの仕方を説明し、鞘の修理をその場で説明を加えながら実演したのです。館内での仕事は、普段の自分の仕事場とは勝手が違い、とりわけ手元を照らす光源に苦心しました。鞘の中のひずみ、すなわち凸凹がどこにあるかわかるには、右から光を当てて影を見て調べますが、その際の、光の角度と量の調節が難しかったのです。

また、所蔵品の中には大変古い鞘もあり、修理に著しく困難を強いられる場面もありました。それでも、どうやら無事、任務を全うすることができました。博物館の方々は、刀および鞘の修理、保存方法の説明を真剣に聞いてくださり、あらためて自分の仕事に対する責任の重さと、刀に対する自分の思いを確認することになりました。

博物館の中も見学させていただきました。今回、このような貴重な経験をさせてくださった大英博物館および関係者の皆さま、本当にありがとうございました。(鞘師・森井敦史)



平成11年、高山一之師に師事
15年、(財)日本美術刀剣保存協会主催「刀剣研磨・外装技術発表会」白鞘の部で努力賞受賞、以後19年まで優秀賞を連続受賞
19年より東京国立博物館所蔵刀剣の保存修復に従事
22年、23年、公益財団法人日本刀文化振興協会「新作日本刀・刀職技術展覧会」白鞘の部で金賞一席を受賞
23年、神奈川県横浜市にて独立
現在、公益財団法人日本刀文化振興協会幹事

刀 剣 界

寄稿 刀剣趣味のきっかけは土方さん 「會津十一代和泉守兼定展」を見て

今年も大刀剣市が開催され、会場は連日多くの来場者と名品で熱気に包まれておりました。刀剣界にも遅い春が来たことが実感されました。

大刀剣市の日程に合わせて、日ごろ何かとお世話になっていらっしゃる銀座の泰文堂さんが兼定展を開催されると聞いて足を運びました。十一代兼定を集めた展覧会で、目玉出品は新撰組副長・土方歳三さんの佩刀でした。

ご存じのように、兼定刀匠は明治九年の廃刀令を挟んで活躍された幕末の会津刀工であり、日本刀の浮沈が最も激しかった時期に名品を残されています。さまざまな作風があり、鑑定会で五本並んだらすべて兼定に

入札するには戸惑いがあるくらい、作域が広く、技量の高かった刀工として知られておりました。主催された泰文堂の川島社長にお話を伺ったところ、土方さんのお刀は日野市にある土方歳三資料館に保管されています。

また全国の兼定愛刀家の方も、東日本震災と原発事故からの復興途上であり、兼定刀匠の故郷でもある福島への支援になればとの企画に賛同され、ご自慢の愛刀を快く貸してくださったとのことでした。

展示会場は新撰組ファン、土方ファンと思われる若い女性で

占拠される一方、日野市長や土方歳三資料館館長はじめ郷土刀愛好家や新撰組ゆかりの方もいらしたようです。大刀剣市のついでに立ち寄った方より、大刀剣市とは関係なくご来場された方が多かったようです。

「歴史」という言葉があるくらい、最近では女性の歴史ファンが多いと聞いています。鉄道ファンである鉄子さんを刀ファンの鉄子さんへ、次には刀女という言葉ができるよう、刀剣趣味の仲間が増えてゆくことを希望するものです。

ところで、親代々の刀屋さんは別として、皆さんが刀に興味を持たれたきっかけは何でしょう。家に刀があった、爺さんからの昔話、剣道・居合道の稽古、時代小説・剣豪小説の世界等々、さまざまなきっかけがありがた

一つは、高校時代に出会った司馬遼太郎の新撰組小説でした。真偽はともかく、近藤勇の虎徹、土方歳三の兼定、沖田総司の菊一文字など天下の名刀が次々と出てきました。

その土方さんの愛刀を間近に拝見できたことは、何十年ぶりかです。初恋の人に再会したような高揚感がありました。刀好き冥

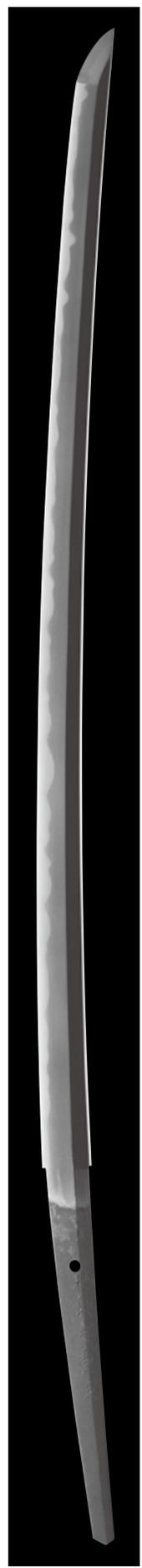
「報告と御礼」
銀座泰文堂では十月二十六日から二十八日まで「會津十一代和泉守兼定展」を開催し、三日間で延べ四百二十名の方々にご来場をいただきました。

利に尽きる幸福の時間となりました。なお、大刀剣市の終了時、四階受付にあった図録所載の虎徹の大判写真を頂戴したのは私です。実物には手が届かないので、係の方にお願いで頂戴しました。登録不要、手入れ不要の逸品です。ありがとうございました。(刀剣愛好家 鈴木光壽)

のご寄付をお寄せいただきました。これに図録「會津十一代和泉守兼定」の売上と弊社からの寄付金を合わせて総額三十万円を、福島県の「災害復興寄付金」へ寄付しました。

皆さまから多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。(銀座泰文堂・川島貴敏)

土方歳三の差料「和泉守兼定」



のり 照明の工夫

高岩俊文

日本刀を間近に鑑賞できる機会の一つに博物館の展覧会があります。博物館のお客さまに刀との接点をお尋ねすると「〇〇博物館で刀を見た」というお話をよく聞きます。また展示解説をしますと、質問をよく受けま

す。察するに、刀が好きな方の人口はさほどではなくとも、刀への興味はある、あるいは興味とまではいかないが何となく面

白そう、と感じている方は多いようです。そんな刀への興味の入りにく

い多くの方々に、もう一歩踏み出していただく。展覧会にはそんな工夫が大切であると痛感してききました。刀には多くの見どころがあります。ここでは展覧会を通して「きれいな、美しいに触れる」ことを狙いに照明の工夫について考えてみたいと

思います。

刀の魅力を引き出すために重要な要素に、照明があります。蛍光灯で全体を照らし、スポットライトで刀身の元から先まで、目の高さで適度に刃文と地鉄の見どころがわかるように。鑑賞の妨げとならないよう、蛍光灯の刀身への映り込みを削減することも大切です。併せてお好みでお使いいただける懐中電

灯も好評です。こうした工夫の積み重ねにより「刀は光の照らし具合で生き光る」という「発見」を生

み出せるものと思います。

刀とは構造が異なる袋槍の展示では、刀架けに架ける通常の方法が取れず悩みました。そこで木工の心得のある愛刀家のご協力を得て、垂直に立てた木製の棒を付けた展示台を製作し、槍を棒に被せて固定し、スポットライトは上からでなく横から当てるという方法を取りました。

また、どなたでも鑑賞できるように、年少者や車椅子の方に合わせて、刀と照明の高さと角度を調整する方法もあります。照明は展示ケースなどの設

「鉄の技術と歴史」研究フォーラム 復興への願いと世界遺産登録を期して

十一月十一日に岩手県釜石市で開催された一般社団法人日本鉄鋼協会「鉄の技術と歴史」研究フォーラム主催の「東北地方の鉄生産技術と文化」講演会・現地見学会に参加してきました。当地での開催は震災復興支援と、産業遺産群の世界遺産登録を応援しようとの趣旨からで、講演と見学の両方から、また地元講師や参加者との交流を通して認識を深めることも、今後の課題も共有することができた。

震災の被害は想像以上であった。釜石市だけでも死者・行方不明者は千人を超え、市街地の瓦礫こそは撤去されたものの、建物を失った光景は痛々しい。釜石港湾口の世界最大水深といわれた防波堤は崩落し、今も無残な姿をさらしている。

われわれは東北震災と福島第一原発事故を長く心にとめていかななくてはならないと、あらためて思った。講演は、県内の製鉄遺跡の状況や南部鉄瓶の製作技法、特異な磁鉄鉱である餅鉄、鉄産業遺産群の現状と世界遺産登録への取り組みなど、当地ならではの内容であった。新日本製鐵釜石

製鐵所に長く勤務し、大作『大島高任―日本産業の礎を築いた「近代製鉄の父」』を著した半澤周三氏から、講演に関連して親しくお話を伺えたことも望外の喜びであった。翌日は、釜石製鐵所と釜石鉱山、鉄の歴史館を見学した。さらにその翌日も、釜石市教育委員会・森一欽氏のご厚意で見学できることになり、旧釜石鉱山事務所や、大島の築いた大橋高炉跡、それに現存するわが国最古の洋式高炉跡である橋野高炉跡などを見学することができた。

「鉄とラグビーの町」釜石では今、復興が進む一方で、橋野高炉と関連施設の世界遺産登録への期待が高まっている。これは八エリア二十八資産で構成される「九州・山口の近代化産業遺産群」に域外ではあるが、釜山(釜山)反射炉(静岡県伊豆の国市)とともに加わっているため、平成二十七年の登録を目指して準備も進んでいる。今回は有意義だった釜石でのフォーラムのレポートにとどめ、産業遺産の世界遺産登録については稿を改めたい。(土子民夫)



橋野高炉跡の一部



大島高任父子顕彰碑

(筆者は和鋼博物館学芸員)

刀 劍 界

平成25年1月15日発行(隔月刊)

平成25年(2013) 謹賀新年 本年もよろしくお願ひ申し上げます

毎月20日開催

西日本甲冑交換会
出品随時受付中

事務局
〒151-0053
東京都渋谷区代々木4-22-11
TEL 03-5350-8513
日本刀簾谷 篠谷 大輔

飯田 高遠堂
飯田 慶久・慶雄

東京都新宿区下落合3-17-33
TEL 03-3951-3312

刀剣古銭・切手・古美術品(売買)
(株)城南堂古美術店
代表取締役社長 **田中 勝憲**

東京都目黒区上目黒4-31-10
TEL 090-3208-9612

刀剣古美術
飯塚 賢路

〒337-0015
さいたま市見沼区蓮沼1004-11
TEL 048-688-2200
FAX 048-688-2200

創刊昭和37年
刀剣・甲冑武具の専門情報紙
刀剣春秋

東京都墨田区東向島1-17-12
TEL/FAX 03-3613-1044

刀剣研磨
池田 長正

〒243-0406
神奈川県海老名市国分北2-12-14
TEL 046-231-2535
FAX 046-234-8123
メール togibow@yahoo.co.jp

美術刀剣 阿雲亭
笹原 俊和

〒869-2612
熊本県阿蘇市の宮町宮地4527-1
TEL 090-3078-4044

内曇砥刃引き・地引き採掘元
石原砥石工業所
五代目 **石原 與五郎**

京都市右京区嵯峨嵯原清水町12
TEL 0771-44-0523
FAX 0771-44-0308
URL http://www.zocn.ne.jp/~i-toishi/

(株)日本刀剣
伊波 賢一

〒105-0001
東京都港区虎ノ門3-8-1
TEL 03-3434-4321
FAX 03-3434-4324

やしま
齋藤 雅稔

東京都西東京市柳沢6-8-10
TEL 042-463-5310
FAX 042-463-7955

やしま
齋藤 隆久

東京都西東京市柳沢6-8-10
TEL 042-463-5310
FAX 042-463-7955

刀剣小道具・甲冑・売買・工作及び相談承ります。
株式会社 むさし屋
代表取締役 **猿田 慎男**

〒590-0025 大阪府堺市堺区向陵東町1-2-19
TEL 072-251-8600
FAX 072-251-8600
URL http://www.musasya.co.jp

株式会社 真玄堂

〒101-0044
東京都千代田区鍛冶町1-7-17
TEL 03-3252-7844
FAX 03-3251-1419

刀(和) **永和堂**
朝倉 忠史

長野市南泉町1136
TEL 026-228-0001
FAX 026-227-5789

京都店開店
玉山名史刀・一文字刀剣会
玉山祐司・真敏

京都市東山区三条通白川橋東入
二丁目西町149-1
TEL 075-708-8210

刀剣市場野田会 毎月3日・19日開催
株式会社 美術刀剣松本
松本富夫・松本義行

千葉県野田市清水1-9-11
TEL 0471-22-1122
FAX 0471-22-11950
メール info@touken-matsumoto.jp
URL http://www.touken-matsumoto.jp

拵合せ致します
日本刀鞘師 **水野 美行**

〒160-0002 東京都新宿区坂町18
TEL 03-3353-8810

刀工・奈良県無形文化財保持者
月山 貞利

〒633-0073
奈良県桜井市大字茅原228-8
TEL 0744-431-7330

株式会社 刀剣柴田
社長 **柴田 光隆**

〒104-0061 東京都中央区銀座5-6-8
TEL 03-3573-2801
FAX 03-3573-2804
URL http://www.tokenshibata.co.jp
(支店・東京駅大丸10階「刀剣コーナー」)

もちだ美術
持田 具宏

さいたま市中央区上落合1-9-4
TEL 048-855-4792

小澤刀剣
小澤 正晴

栃木県小山市天神町2-8-54
TEL 0285-30-5353

刀剣・小道具 刀剣杉田
代表 **杉田 侑司**

豊島区池袋2-49-5
TEL 03-3980-1461
FAX 03-3980-1463

刀剣小道具
甲冑武具・高麗買入
丸英美術刀剣店
瀬下明・昌彦

栃木県小山市乙女3-17-30
TEL 0285-445-0158
FAX 0285-445-8596
URL http://www.maruhidetuken.com

札幌 横山美術
横山 忠司

北海道札幌市中央区南3条東1-6
TEL 011-251-7652
FAX 011-251-1178

刀剣ギヤラリー 樹林
森野 幸男

〒803-0812
北九州市小倉北区室町2-2-15
TEL 093-561-0449

美術刀剣 勝武堂
大平岳子・将広

東京都中野区本町4-45-10
TEL/FAX 03-3381-3071
URL http://www.shoubudou.co.jp

服部美術店

東京都中央区日本橋3-5-12・2F
TEL 03-3274-5170

株式会社 古美術刀友会
代表取締役 **山本 一郎**

〒033-0123
青森県三沢市堀口17-332
ブレインマンションルキア内
TEL 090-3336-19555

古美術・刀剣 山城屋
嶋田 伸夫

東京都豊島区巣鴨1-21-8
TEL 03-3942-2701
FAX 03-6657-4221

赤荻刀剣店
赤荻 稔

茨城県下妻市下妻乙172の5
TEL 0296-444-2643

浅草観音裏
美術・骨董・書画・工芸・刀剣・鎧
(株)晴雅堂清水

TEL/FAX 03-3842-3777

つるぎの屋
冥賀吉也・亮典

東京都北区西ヶ原4-35-11
TEL 03-3576-1175
FAX 03-3576-8419

刀剣・書画・骨董 株式会社 和敬堂
土肥 豊久

新潟県長岡市柏町1-2-16
TEL 0258-33-8510
FAX 0258-33-8511
URL http://www.wakeidou.com

木村美術刀剣店
木村 義治

群馬県高崎市萩原町484-110
TEL 027-352-1590
FAX 027-352-1591

銀座 盛光堂
齋藤 恒

東京都中央区銀座8-11-14 盛光堂ビル
TEL 03-3569-2251(代)
URL http://www.ginzaseikodo.com

日本刀火鋸の専門店
刀剣・古美術 誠友堂
代表取締役 **生野 正**

東京都中央区銀座5-11 銀座ファイブ2階
TEL 03-3558-8001
FAX 03-3558-8068
URL http://www.seiyudo.com

新堀美術刀剣
新堀孝道・徹・賀将

横浜市旭区さちが丘2
TEL 045-364-2893
URL http://www.10cnc.ne.jp/~simbori

銀座長州屋

東京都中央区銀座3-10-4
TEL 03-3541-8371
FAX 03-3541-8379
URL http://www.choshuyaya.co.jp

日本美術刀剣研磨
無鑑査 研師 **墨 賢藏**

東京都練馬区北2-7-15
TEL 03-3928-0062
携帯 090-4737-12715

刀剣研磨 研師 **平井 隆守**

岐阜県関市清水町43
TEL/FAX 0575-25-0928
URL http://www.h4dion.ne.jp/~katanka
メール onkatana@d4dion.ne.jp

刀剣研師 **白木 良彦**

〒135-0045
東京都江東区古石場1-2-17
TEL 03-3643-3228

お花茶屋の柄巻師
御柄前司処 **龍翠**
捲仙 **飯山 隆司**

東京都葛飾区お花茶屋3-10-8・205
メール kenshi.yama@gmail.com

美術刀剣松山
福岡 光男

愛媛県松山市松前町3-3-11
TEL/FAX 089-947-5177

美術刀剣 販売・買取・諸工作
代表 **宮澤 琢**

埼玉県新座市栗原4-6-14
TEL 042-4438-6108
FAX 042-4438-9108
URL http://www.edo8.jp

刀剣古美術 優古堂
代表 **三浦 優子**

東松山市高坂769-5
TEL 0493-35-5559
URL http://yukodonet

美術刀剣研磨
本阿彌 毅

富山県富山市小杉2108-11
TEL/FAX 076-461-7195

刀剣力装具 刀剣武蔵野
大西 敏之

茨城県利根町もぎ野台3-5-11
TEL 0297-63-2430

刀剣研師 **黒田 守寿**

福岡市博多区東雲町1-4-15
TEL 092-581-1728